

(4) 土地改良後の農業

新國さんの話



土地改良事業によって、用水と排水を別に使い分けることができ、^{てんさく}転作（田から畑、畑から田への移^い行^{こう}）がかんたんになりました。また、機械を使うことで作業が多くでき、^{ろうりよく}労力もはぶけるようになりました。

今、いねを3.3ヘクタール、転作によって、菊を80アール作り、そのほかに、畑が50アールあります。

30アールの区画になりましたが、平らになっていない所や土の質が同じでない所があり、土づくりに苦勞しています。豚を飼^かい、^{ゆうき ひりょう}有機肥料を入れながら土づくりに努めています。

これからの農業を考えたときに、後継者がいないという問題があります。また、^{こうれいか}高齢化により農作業ができなくなるという問題もあり、これから集約化されて大規模経営が図られていくと考えています。



▲転作による菊づくり